

国立大学法人 三重大学

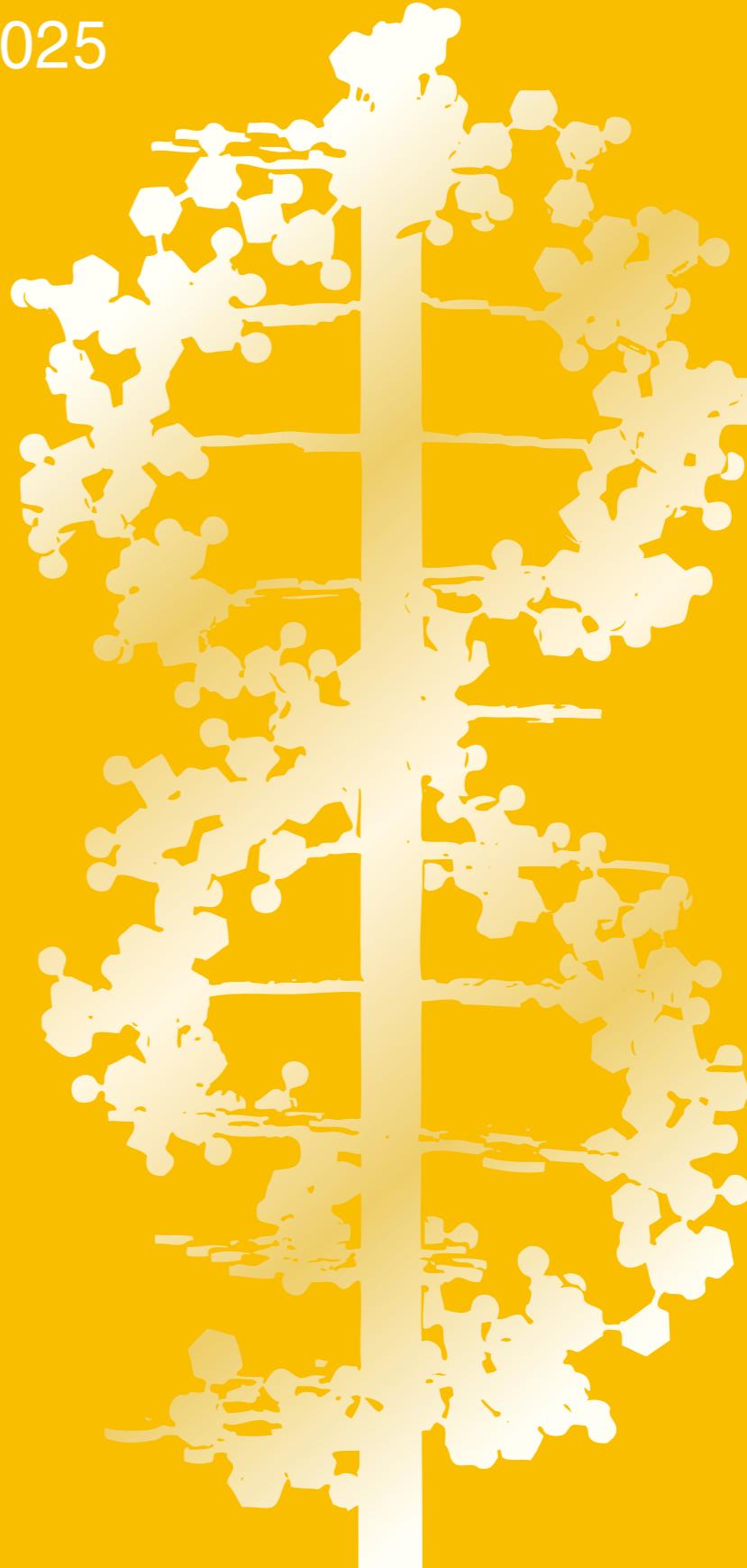
大学院 生物資源学研究科

Graduate School of Bioresources

生物資源学部

Faculty of Bioresources

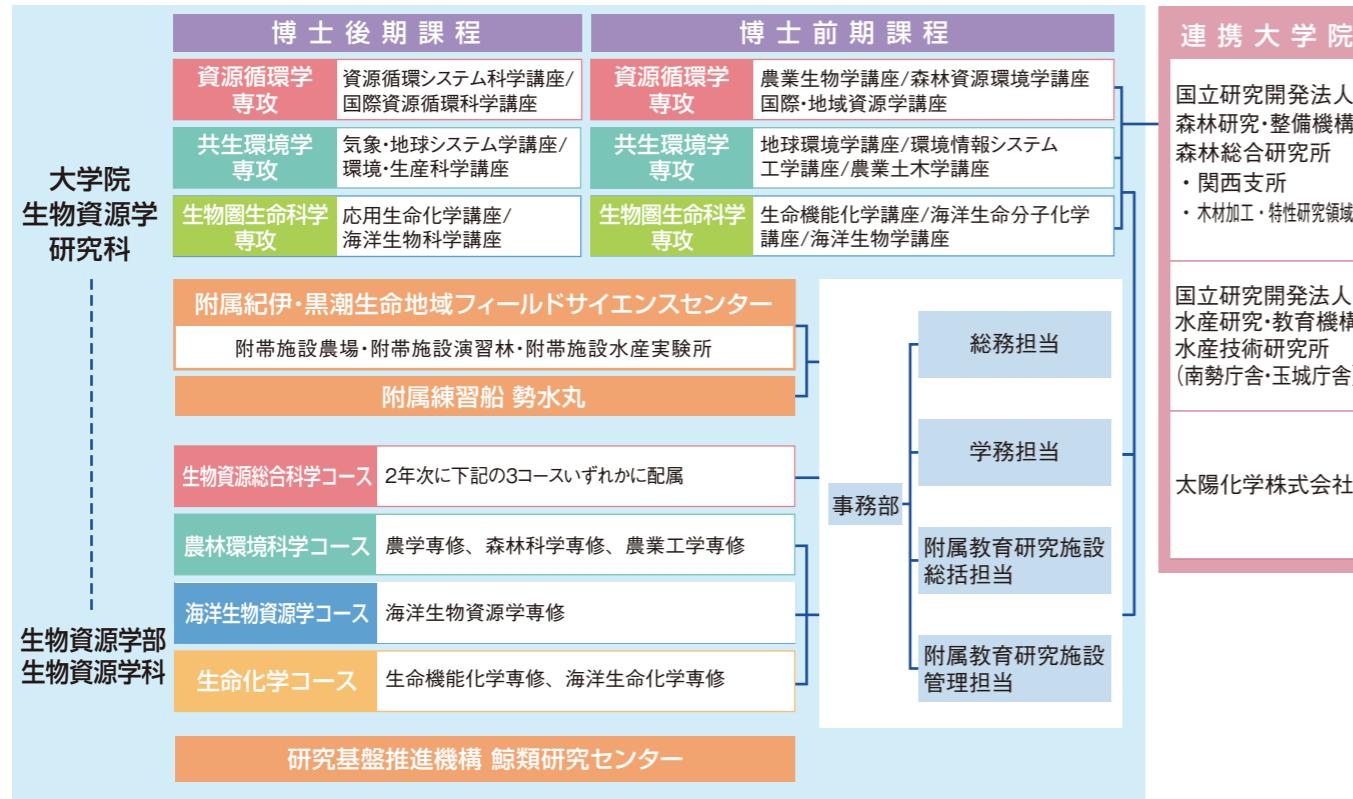
2024–2025



国立大学法人 三重大学
大学院 生物資源学研究科
生物資源学部

〒514-8507
三重県津市栗真町屋町1577
TEL.059-231-9626
FAX.059-231-9634
www.bio.mie-u.ac.jp
2024年8月発行

1 機構



2 専攻・学部概要

大学院生物資源学研究科

資源循環学専攻

持続的な社会の基盤としての生物資源を環境に配慮した方法で循環的に利用するための、技術の開発や新しい社会のデザインをすることができる人材を育成することにより、調和のとれた循環型社会の構築に貢献することを目指している。このため、本専攻では、生物の生命の仕組み、それらの生物を取り巻く環境、生物多様性についての学問を通して、生物資源の持続的利用に関する教育・研究を行う。

共生環境学専攻

多様な生態系からなる地球生命圏の環境を理解し、保全・修復しつつ、人間活動と生態系が調和する持続的な生物生産システムの構築を目指している。このため、本専攻では、陸圏・海洋圏・大気圏が複雑に連動する地球生態システムを対象に、地域から地球そのものというようなマルチスケールをカバーする気象学・環境科学・生態科学などの基礎科学とそれらと社会システムが共存し持続的な発展をはかるための環境工学や農業工学などの応用学間に根ざした教育・研究を行う。

生物圏生命科学専攻

生命科学全般に関する基礎的学理及び海洋の資源生物の育成・保全・管理に関わる学問を構築し、実践的教育を通じてそれを学生に修得させることを目指している。このため、本専攻では、個々の学生が資源生物の生命現象に関する基礎理論を生態系、群集、個体群、個体、器官、細胞、分子レベルで理解するとともに、生物科学の研究に必要な研究技法を修得するための教育・研究を行う。

生物資源学部 生物資源学科

生物資源総合科学コース

生物資源総合科学コースでは1年次に、農林環境科学概論、海洋生物学、応用生命化学概論、フードシステムチュートリアル等の科目を学び、生物資源学の幅広い知識や俯瞰的視野、地域を先導する力に関する基礎的素養を身につけます。

2年生からは下記の3コースのいずれかへ配属されるため、志望分野を入学後には検討したい学生に最適な選択の可能性を提供します。

農林環境科学コース

農学専修では、生命農学と社会科学の視点からフードシステムを理解し、食料問題の解決や豊かな環境維持の方策と技術を身につけます。森林科学専修では、森林生態系の自然環境や生物多様性を学び、地球温暖化の抑止や脱炭素社会を実現する森林資源の持続的な利用に必要な技術を身につけます。農業工学専修では、農村空間や環境の保全修復、食料生産、資源循環、資源有効利用に関する基礎理論を学び、それらのスマート化に必要な技術を身につけます。

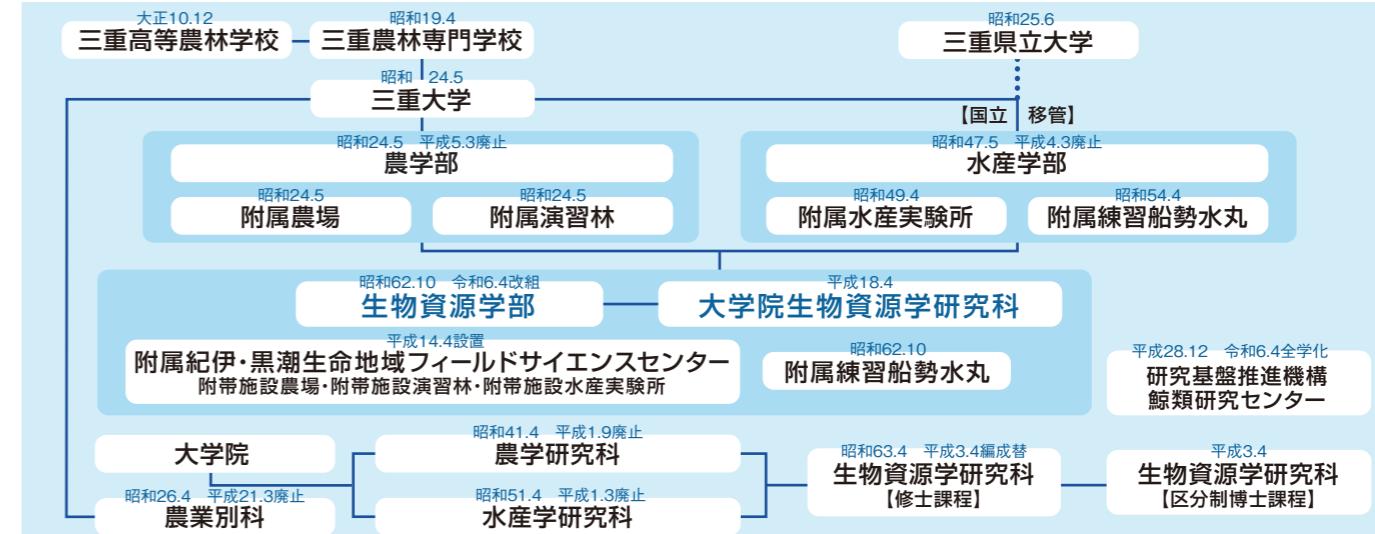
海洋生物資源学コース

プランクトンから魚介類・鯨類・藻類などにいたる多様な水生生物について、遺伝子レベルから生態系レベルまでの基礎を学ぶとともに、それらを増やし育てる技術、保全、資源としての持続的利用や流通の方法を学びます。また、海洋環境やそれに密接にかかわる気候変動、異常気象なども対象とし、海洋における生物と環境との関係を理解し、多様な視点から海洋生物資源について総合的に学びます。

生命化学コース

生命化学コースでは、多様な生物の代謝・物質・機能を解析することを通して生命化学の分野における幅広い知識と応用力を有する人材を育成することにより、人類の健康増進および農林水産業の発展に貢献することを目指しています。生命化学コースでは2年次前期までに専門基礎科目を学び、2年次後期から生命機能化学専修または海洋生命化学専修に分かれ、専修専門科目や卒業研究に必要な研究手法の学理と技術について学びます。

3 沿革



4 役職員

令和6年4月1日現在

役員	氏名	任期
研究科長(兼務)	松村 直人	2024.4.1~2025.3.31
副研究科長(教育担当)(兼務)	木村 哲哉	2024.4.1~2025.3.31
副研究科長(研究担当)(兼務)	柿沼 誠	2024.4.1~2025.3.31
研究科長補佐(学生担当)(兼務)	名田 和義	2024.4.1~2025.3.31
研究科長補佐(学部教育・FD担当)(兼務)	松田 陽介	2024.4.1~2025.3.31
研究科長補佐(国際交流)(兼務)	塚田 森生	2024.4.1~2025.3.31
研究科長補佐(研究広報担当)(兼務)	木佐貫博光	2024.4.1~2025.3.31
評議員	橋本 篤	2024.4.1~2026.3.31
資源循環学専攻長(資源循環学科長)(兼務)	中島 千晴	2024.4.1~2025.3.31
共生環境学専攻長(共生環境学科長)(兼務)	渡邊 晋生	2024.4.1~2025.3.31
生物圏生命科学専攻長(兼務)	刈田 修一	2024.4.1~2025.3.31
生物圏生命化学科長(兼務)	福崎 智司	2024.4.1~2025.3.31
海洋生物資源学科長(兼務)	筒井 直昭	2024.4.1~2025.3.31
生物資源総合科学コース長(兼務)	中島 千晴	2024.4.1~2025.3.31
農林環境科学コース長(兼務)	渡邊 晋生	2024.4.1~2025.3.31
海洋生物資源学コース長(兼務)	筒井 直昭	2024.4.1~2025.3.31
生命化学コース長(兼務)	福崎 智司	2024.4.1~2025.3.31
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター長(兼務)	渡邊 晋生	2023.4.1~2025.3.31
附属練習船勢水丸船長(兼務)	中村 亨	2024.4.1~2026.3.31
生物資源学研究科事務長	谷 仁	2024.4.1~
附属教育研究施設事務室長	山下 城	2023.7.1~
研究基盤推進機構鯨類研究センター長(兼務)	松村 直人	2024.4.1~2025.3.31

5 職員数[現員]

令和6年7月1日現在

区分	現員
教 授	44
准 教 授	38
講 師	0
助 教	16
一般職員	44
計	142

6 専攻組織

大学院生物資源学研究科 博士後期課程

令和6年4月1日現在

専攻	講座	教育研究分野
資源循環学	資源循環システム科学	食料生産科学、森林資源環境学
	国際資源循環科学	国際資源循環科学
共生環境学	気象・地球システム学	大気海洋地球学、流域環境創成学、地球環境解析学
	環境・生産科学	環境情報システム工学、地域保全工学、生態系循環システム学
生物圏生命科学	応用生命化学	生命機能化学、海洋生命分子化学
	海洋生物学	海洋生物学

大学院生物資源学研究科 博士前期課程(生物資源学部)

令和6年7月1日現在

**学部は全学共通教育センター所属

資源循環学専攻

講座 [大講座]	教育研究分野	職名/氏名	
		*大学院は地域イノベーション学研究科所属	
農業生物学	分子遺伝育種学	教授 掛田克行	[教授 諏訪部圭太]*
	資源作物学	教授 梅崎輝尚	教授 長菅輝義 准教授 長屋祐一
	園芸植物機能学	教授 奥田均	教授 名田和義
	動物生産学	教授 松井宏樹	准教授 伴智美
	草地・飼料生産学	准教授 近藤誠	
	植物医学	教授 中島千晴	准教授 白水貴
	昆虫生態学	教授 塚田森生	
	森林保全生態学	教授 木佐貫博光	准教授 鳥丸猛
	森林微生物学	教授 松田陽介	助教 北上雄大
	土壤圈生物機能学	准教授 水野隆文	
森林資源環境学	森林総合環境学	准教授 渕上佑樹	
	緑環境計画学	教授 松村直人	准教授 松尾奈緒子
	森林環境砂防学	准教授 沼本晋也	
	森林利用学	教授 板谷明美	
	木質資源工学	教授 中井毅尚	助教 内迫貴幸
	木質分子素材制御学	教授 野中寛	助教 德永有希
	循環経営社会学	[教授 野中章久]*	
	資源経済システム学	教授 常清秀	
	国際資源植物学	教授 関谷信人	
	国際資源利用学	准教授 吉原佑	

共生環境学専攻

講座 [大講座]	教育研究分野	職名/氏名	
		**学部は全学共通教育センター所属	
地球環境学	気象・気候ダイナミクス	教授 立花義裕	
	気象解析予測学	准教授 西井和晃	
	海洋気候学	准教授 山田二久次	
	未来海洋予測学	准教授 万田敦昌	
	地球システム進化学	教授 坂本竜彦	
	水環境・自然災害科学	教授 葛葉泰久	
	応用環境情報学	教授 福島崇志	助教 滝沢憲治
	生産環境システム学	准教授 鈴木哲仁	
	エネルギー利用工学	教授 王秀嵩	助教 吳婷婷
	フードシステム学	教授 森尾吉成	助教 内藤啓貴
環境情報システム工学	農村計画学	准教授 森本英嗣	
	土資源工学	教授 保世院座狩屋	助教 田中宣多
	水資源工学	准教授 近藤雅秋	[准教授 伊藤良栄]**
	水利施設工学	教授 岡島賢治	助教 長岡誠也
	土壤圈システム学	教授 渡邊晋生	
	土壤圈循環学	教授 取出伸夫	准教授 坂井勝

生物圏生命科学専攻

講座 [大講座]	連携機関	教育研究分野	職名/氏名	
			森林総合研究所関西支所	自然共生学
森林資源環境学	森林総合研究所木材加工・特性研究領域	木質資源工学	連携教授 安部久	連携准教授 藤本清彦・杉山真樹・鳥羽景介
生物圏生命科学専攻				
生命機能化学	太陽化学株式会社	食品機能学	連携教授 小関誠・石原則幸	連携准教授 小林純也
	水産研究・教育機構水産技術研究所	発生・代謝機能解析学	連携教授 藤原篤志・松本才絵	連携准教授 村下幸司

令和6年4月1日

7 学生数【定員・現員】

学部等	令和6年5月1日現在																				
	1年			2年			3年			4年			計								
	定員	現員		定員	現員		定員	現員		定員	現員		定員	現員							
		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女						
生物資源学部	生物資源学科	260	147	127	274						260	147	127	274							
	資源循環学科				70	36	39	75	73 (3)	39	36	75	73 (3)	51	37	88					
	共生環境学科				70	43	27	70	73 (3)	47	25	72	73 (3)	65	21	86					
	生物圏生命学科				80	40	43	83	82 (2)	30	52	82	82 (2)	39	54	93					
	海洋生物資源学科				40	27	16	43	42 (2)	29	12	41	42 (2)	30	15	45					
	計	260	147	127	274	260	146	125	271	270	145	125	270	270	185	127	312	800	476	377	853
大学院 生物資源学 研究科	博士前期課程	88	68	40	108	88	71	46	117						176	139	86	225			
	博士後期課程	12	5	9	14	12	9	6	15	12	14	3	17		36	28	18	46			

() 内は、3年次編入学定員を内数で示す。

10 留学生数

区分	中国	韓国	インドネシア	フィリピン	マレーシア	バングラデッシュ	エジプト	その他※1	計	
									1年	2年
生物資源学部	1								0	0
	1								1	1
									0	0
									1	1
	1								2	2
	2								1	1
	3	1	1						5	5
	6	1	2	1					12	12
								2	2	4
	1								1	2
大学院 生物資源学 研究科	1								0	0
	2								6	6
	1		2	1					2	2
	4	1	1						8	8
		1							0	0
	17	6	5	5	3	3	2	10	51	51
	計									

※1 イギリス、ガーナ、ケニア、コンゴ、シリア、スペイン、ソロモン諸島、タンザニア、ベナン共和国、モザンビーク

8 卒業・修了者数

区分	学部等	期間（年度）				卒業・修了者（名）	
		1年	2年	3年	4年	1年	2年
専門学校 (旧制)	三重高等農林学校	1924～1942				1,931	
	三重農林専門学校	1944～1951				1,627	
大学 (新制)	三重大学農学部	1952～1992				6,978	
	三重大学水産学部	1953～1974				995	
大学院	三重大学水産学部	1975～1992				944	
	三重大学生物資源学部	1991～2023				8,905	
別科	大学院農学研究科（修士課程）	1967～1988				378	
	大学院水産学研究科（修士課程）	1977～1988				107	
	大学院生物資源学研究科（修士課程）	1989～1992				152	
	博士前期課程	1992～2023				3,017	
	博士後期課程	1993～2023				463（課程357、論文106）	
農業別科		1951～2008				609	

9 卒業・修了後の進路状況（令和5年度）

学部	学科等	卒業者	就職				進学者	その他	就職先	
			企業	官公庁	教員	その他			県内	県外
生物資源学部	資源循環学科	67 (32)	30 (19)	13 (6)	1 (0)	0 (0)	20 (5)	3 (2)	9 (3)	35 (22)
	共生環境学科	73 (26)	28 (15)	19 (6)	0 (0)	0 (0)	23 (5)	3 (0)	6 (3)	41 (18)
	生物圏生命学科	80 (46)	29 (16)	9 (7)	2 (0)	0 (0)	38 (23)	2 (0)	12 (8)	28 (15)
	海洋生物資源学科	39 (10)	13 (7)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	23 (3)	0 (0)	1 (0)	15 (7)
計		259 (114)	100 (57)	43 (19)	4 (0)	0 (0)	104 (36)	8 (2)	28 (14)	119 (62)
大学院生物資源学 研究科	博士前期課程	90 (32)	72 (21)	5 (3)	3 (2)	0 (0)	7 (3)	3 (3)	15 (5)	65 (21)
	博士後期課程	13 (5)	6 (1)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	4 (1)	5 (0)
計		103 (37)	78 (22)	5 (3)	6 (2)	0 (0)	7 (3)	7 (7)	19 (6)	70 (21)

() 内は、女子学生数を内数で示す。

12 生物資源学部奨学金制度

渡邊文二奨学金

給付年額	480,000円
	給付期間
対象	2年間
	学部3年次の学生で経済的理由により、就学が困難である者
給付人数	1人
	将来、三重県内で畜産、食品、水産および農業の事業に携わる見込みがある者
募集時期	2人
	4月初旬～末

朝日土木株式会社奨学金

給付年額	600,000円
給付期間	2年間
対象	博士前期課程

13 国際交流

大学間協定 令和6年7月1日現在

大学名	国・地域名	大学名	国・地域名
江蘇大学	中国	IPB大学	インドネシア
廣西大学	中国	スリwijaya大学	インドネシア
江南大学	中国	ハルオレオ大学	インドネシア
南京工业大学	中国	バジャジャラン大学	インドネシア
上海海洋大学	中国	インドネシア国立研究革新庁(BRIN)	インドネシア
延边大学	中国	ブトラマレーシア大学	マレーシア
安徽农业大学	中国	トレングヌ大学	マレーシア
吉林农业大学	中国	カントー大学	ベトナム
釜慶大学校	韓国	バングラデシュ農業大学	バングラデシュ
国立台湾海洋大学	台湾	フィジー国立大学	フィジー
カセサート大学	タイ	南太平洋大学	フィジー
スラナリー工科大学	タイ	国立ラ・モリーナ農業大学	ペルー
タマサート大学	タイ	セントラルルソン大学	フィリピン
メジョー大学	タイ		

学部間協定

大学名	国名	大学名	国名
モンクトントンブリ工科大学	タイ	ゲント大学	ベルギー
ムラワルマン大学	インドネシア	メリーランド大学イースタンショア校	アメリカ
パテイン大学	ミャンマー		

15 学術刊行物

刊行物名 発行部数 発行回数

三重大学大学院生物資源学研究科紀要	400	年1回
三重大学フィールド研究・技術年報	200	年1回

17 研究経費

科学研究費助成事業(科研費)採択状況(単位:千円)

種目	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)	
	件数	交付金額								
学術変革領域研究(A)							1	2,900		
新学術領域研究	2	18,100	2	28,500	2	40,100	1	23,400	1	17,600
基盤研究(A)	1	8,700	1	9,200	1	6,600	1	10,100	0	0
基盤研究(B)	8	31,600	11	45,200	11	42,000	9	32,300	9	37,400
基盤研究(C)	33	34,400	32	36,000	31	31,400	31	29,400	32	37,300
挑戦的研究(開拓)	1	9,000	1	4,400	0	0	0	0	0	0
挑戦的研究(萌芽)(挑戦的萌芽研究を含む)	5	9,000	4	5,100	2	3,900	2	4,300	1	1,200
若手研究(A)	1	1,800	1	1,100	0	0	0	0	0	0
若手研究(若手研究(B)を含む)	5	6,000	5	4,600	9	11,000	5	4,300	7	7,400
研究活動スタート支援					0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費					0	0	0	0	0	0
特別研究員奨励費	4	3,600	2	1,900	0	0	2	1,700	2	1,500
奨励研究									1	330
合計	60	122,200	59	136,000	56	135,000	51	105,500	54	105,630

共同研究受入状況(単位:千円)

	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)
件数	117	98	101	104	99
金額	66,566	63,170	59,185	79,532	61,701

受託研究受入状況(単位:千円)

	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)
件数	44	48	49	37	40
金額	98,124	126,083	228,194	236,643	252,870

寄附金受入状況(単位:千円)

	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)
件数	62	56	53	48	50
金額	40,415	27,384	32,791	33,625	32,868

14 連携協定

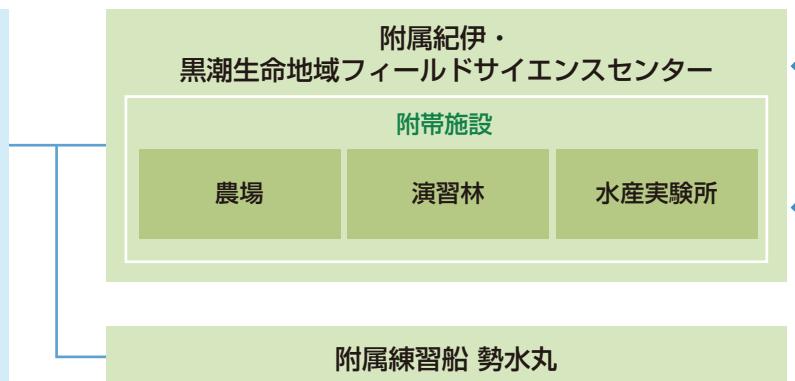
協定先	締結日
独立行政法人土木研究所地質・地盤研究グループ	平成26年7月1日
公益財団法人名古屋みどり振興財団名古屋港水族館	平成27年12月17日
独立行政法人水資源機構中部支社	平成28年5月30日
農林水産省東海農政局農村振興部	平成28年10月18日
株式会社鳥羽水族館	平成30年4月20日
三重県農林水産部「みえ森林・林業アカデミー」	平成30年12月11日
一般社団法人農業土木事業協会	平成31年3月19日
三重県農林水産部「みえ生物多様性パートナーシップ協定」 カワバタモロコの保護に関する協定	平成31年3月28日
三重県農林水産部「みえ生物多様性パートナーシップ協定」 鳥類繁殖場の保全に関する協定	令和2年6月10日
ミキモトグループ	令和2年11月9日
三重県における海洋DX研究開発・導入の促進に 係る産学官連携協定	令和3年3月16日
海のシリコンバレー 「伊勢志摩海洋教育研究アライアンス」	令和4年10月1日

令和6年3月31日現在
令和6年3月31日現在
令和6年3月31日現在
令和6年3月31日現在
令和6年3月31日現在

18 附属紀伊・黒潮生命地域 フィールドサイエンスセンター

紀伊半島全域と黒潮流域に広がる山から海までの生態系を対象に、人間と自然との共存を目指す総合科学の実習教育・研究施設。

フィールドサイエンスセンターの位置付け



附属練習船 勢水丸

附帯施設農場

本学の北西約9.5kmに位置し、水田、畠、果樹園、ガラス室、茶園、畜舎、農産加工室などからなる総合農場で、35haの面積を占める。学部学生の実習教育の他に、共通教育のセミナー、所属教員及びその他の研究科教員と専攻学生のフィールド研究の場としても利用されている。



農場全景



演習林管理・学生宿泊施設



水産実験所全景

19 附属練習船 勢水丸

研究科・学部の洋上における教育及び研究を行うための附属施設であって、学部学生の実習並びに教員・学生の調査研究に利用される。平成21年1月、新たな観測設備、推進システムを搭載した代船として建造され、運航している。



船名	勢水丸	主推進電動機	出力

21 三翠会館

昭和11年8月建築された上浜地区に残る一番古い建物である。三重高等農林学校の卒業生から寄付を受け、非常勤講師の宿泊施設として利用されていた。平成14年2月に登録有形文化財に指定され、また、同年3月に改修を行い、現在は会議や教職員の福利厚生施設として利用されている。

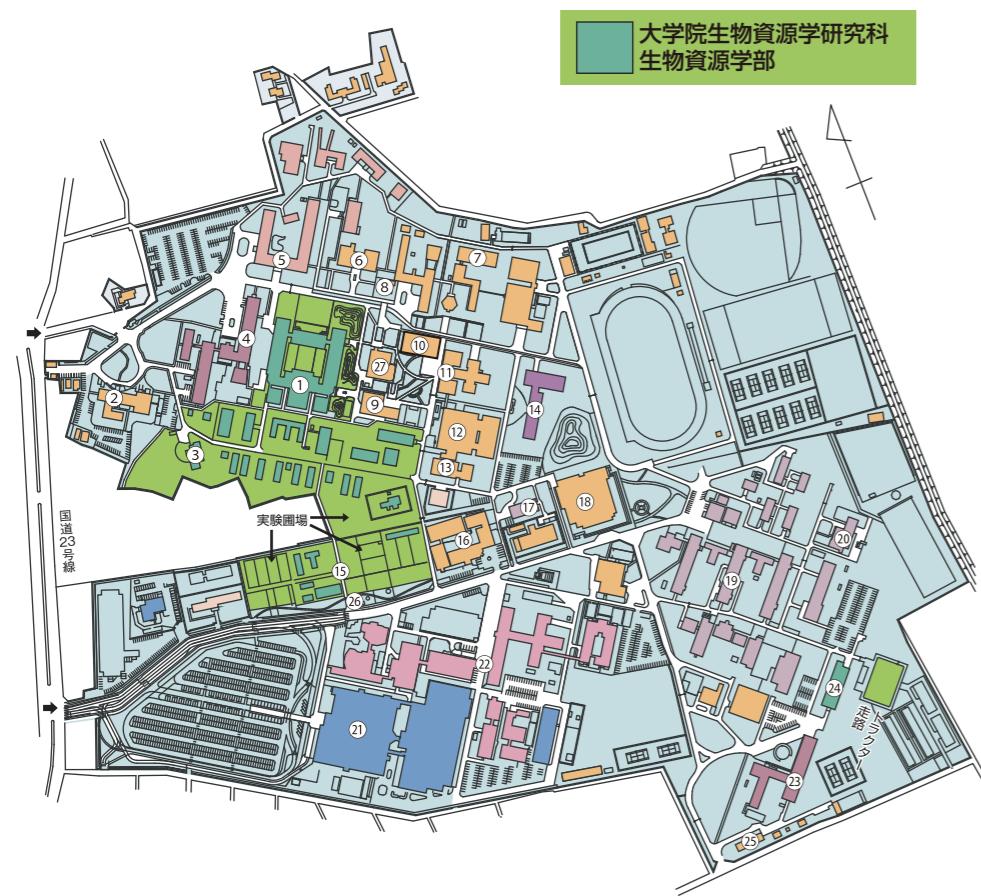


22 不渴の井戸

この井戸は、本研究科の前身である三重高等農林学校が現在地に設置された際に低湿地、塩害地であった土地を改良するために教官と学生が協力して大正13年に築いたものであり、現在も実験圃場への灌漑設備として活用されている。平成28年度には、公益財団法人土木学会が行う選奨土木遺産に選出された。



23 学内配置図



- 1. 生物資源学部校舎
- 2. 事務局
- 3. 三翠会館
- 4. 総合研究棟II
(教育推進・学生支援機構、国際交流センター、保健管理センター等)
- 5. 教育学部校舎
- 6. 教育学部附属教職支援センター
- 7. 共通教育校舎(全学共通教育センター)
- 8. 数理・データサイエンス館(CeMDS)
- 9. 翠陵会館
- 10. 地域共創プラザ(カフェテリア)
- 11. 環境・情報科学館
- 12. 情報ライブラリーセンター(図書館)
- 13. 総合情報処理センター
- 14. 人文学部校舎
- 15. 生物資源学部実験水槽群
- 16. 地域イノベーション学研究科
地域イノベーション研究開発拠点
- 17. オープンイノベーション施設
- 18. 三翠ホール(講堂)
- 19. 工学部校舎
- 20. 卓越型研究施設
- 21. 医学部附属病院
- 22. 医学部校舎
- 23. 総合研究棟I
- 24. 水産製造実験工場
- 25. レーモンドホール
- 26. 不渴の井戸
- 27. クラブハウス

24 土地・建物

区分	土地	建物
生物資源学部	〈528,040m ² 〉	32,529m ²
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター		
附帯施設農場	353,179m ²	7,598m ²
附帯施設演習林	4,569,562m ²	1,421m ²
附帯施設水産実験所	1,299m ²	606m ²
附属練習船基地	1,356m ²	574m ²

〈 〉 : 上浜地区の面積

25 所在地

名 称	郵便番号	住 所	電話番号	FAX番号
大学院生物資源学研究科 生物資源学部	514-8507	津市栗真町屋町1577	059-231-9626	059-231-9634
附属紀伊・黒潮生命地域 フィールドサイエンスセンター	514-2221	津市高野尾町2072-2	059-230-0044	059-230-1463
附帯施設農場	514-2221	津市高野尾町2072-2	059-230-0044	059-230-1463
附帯施設演習林	515-3532	津市美杉町川上2735	059-274-0135	059-274-1171
附帯施設水産実験所	517-0015	鳥羽市小浜町641-9	0599-37-7310	0599-37-7311
附属練習船勢水丸		(松阪港停泊時) (船舶電話)	0598-50-1066 090-3022-8767	0598-50-1066 03-6888-6079
附属練習船基地	515-0001	松阪市大口町1819-18	0598-51-0710	—
研究基盤推進機構鯨類研究センター	514-8507	津市栗真町屋町1577	059-231-6979	—

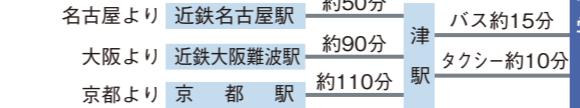
26 アクセス

■ 本学部への交通案内

近鉄電車「急行」で



近鉄電車「特急」で



三重大学

- ① 津駅東口バスのりばから三重交通バスで約15分
「4番」のりばより「白塚駅」、「棕本」、「豊が丘」、「サイエンスシティ」、「三重病院」、「東豊野」、「高田高校前」行きに乗車、「三重大学」で下車
- ② 津駅前からタクシーで約10分
- 近鉄江戸橋駅（三重大学前）から徒歩で約15分
- 中部国際空港（セントレア）から津エアポートラインで「津なぎさまち」へ45分
 - ① 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
「津駅前」で乗り換え「三重大学前」まで約15分
 - ② 「津なぎさまち」からタクシーで約15分

